

Y・A BOOKS ヤングアダルト向け No.11

最近入った本の中から

児童室だより 2004.7

「暁の円卓 1 目覚めの歳月」

ラルフ・イーザウ著 酒寄進一訳
長崎出版 2004.5

1900年1月1日に白髪で生まれてきたデービッドを皆は「世紀の子」と呼んだ。闇の時代に100年の寿命と特別な力を与えられこの世を救うという救世主だ。暗殺された父が残した日記からデービッドは全人類を破滅させようと企む秘密結社“暁の円卓”の存在を知る。

J943-イ-1108500134

「いつまでもベストフレンド」

サラ・デッセン作 おびかゆうこ訳
徳間書店 2004.3

ハレーはもうすぐ16歳。友達を作るのが苦手な彼女にとってスカーレットは何でも話せる唯一の親友。そのスカーレットのボーイフレンドが事故で死んだ。ママに押しつけられたキャンプを中止し親友のもとへかけつけるハレー。友情、恋愛、妊娠、親子関係に悩み成長する姿を描く。

J933-テ-1108479676

「亀になったおばあさん」

シルヴァーナ・ガンドルフィ著 泉典子訳
世界文化社 2004.4

「死をうまくかわすにはね、エリーザ、変身すればいいのさ」と言うエマおばあさん。私は毎日のようにおばあさんに会いに行くが最近何だか様子を変だ。だんだん亀になっていくようで…。でもママには言えない。以前ママに精神病院に入れられたおばあさんは、ママを見るとおかしくなってしまうのだ。

J973-カ-1108492865

「クリスピン」

アヴィ著 金原瑞人訳
求竜堂 2003.11

14世紀のイングランド。アスタの息子と呼ばれる13歳の少年は、唯一の身内である母を失った直後から領主代理の執事に命を狙われる。信頼する神父からクリスピンという自分の名を教えられ母の形見の十字架を渡されたが、出生の秘密を聞く前に神父は殺された。村を逃げ出した彼は、いわくありげな軽業師に拾われて同行することに…。

J933-ア-1108481075

「狐笛のかなた」

上橋菜穂子作 白井弓子画
理論社 2003.11

小夜はある夜傷ついた子狐を助け、屋敷に幽閉されている少年小春丸と出会う。実は子狐は隣国の呪者に操られている野火という名の霊狐で、人を殺した直後だった。三年後、三者は二つの国の領地争いの渦中に。領主の息子小春丸、彼の命を守る呪者の血を引く小夜、彼らを殺す使命を帯びた野火。小夜にかなわぬ思いを寄せる野火の苦悩が切ない。

J913-ウ-1108481137

「サイレントボーイ」

ロイス・ローリー著 中村浩美訳
アンドリュース・プレス 2003.12

20世紀初頭のアメリカ。町医者をお父にもつケイティは、お手伝いのペギーの弟で動物の扱いがとてもうまいジェイコブが、言葉話すことはできないが優しく繊細な子だと感じとっていた。ペギーの姉ネリーは隣家でお手伝いをしていたが突然実家に帰り、やがて思わぬことが…。純粋な心が起こしてしまった悲劇。

J933-ウ-1108481262

「10代のメンタルヘルス 全5巻」

上田勢子訳 汐見稔幸, 田中千穂子監修
大月書店 2003.11 - 2004.3

アメリカで出版された10冊のシリーズから日本でも問題になっている「過食症」「拒食症」「うつ病」「パニック障害」「怒りのコントロール」の5冊を選んで翻訳された。10代が抱える精神的な健康の問題を彼ら自身が向き合えるように書かれている。本人の意思はもちろんのこと、人に頼ることも大切だと教えている。

J498-シ1-1108479952

「No.6 #1」

あさのあつこ〔著〕
講談社 2003.10

2013年の未来都市「No.6」は、特別待遇を受けるエリートたちの居住区。そこに住む12歳の少年紫苑は、嵐の夜に偶然開けていた窓から逃げ込んできた傷を負った少年をかくまう。ネズミと名乗るその少年は特別警戒地域からの脱走者だった。治安局に知られた紫苑はエリートコースから転落する。

J913-アサ-1108430432

「ペーターという名のオオカミ」

那須田淳作
小峰書店 2003.12

ドイツのベルリンが舞台。父の転勤で突然日本へ帰ることになった14歳の亮は、父に反発して家出。恩師の下宿先へ行く。その頃、輸送中のトラックが転倒してオオカミが逃亡するという事故が起こり、オオカミには懸賞金がかげられた。亮は、大家の娘フランチェスカの大叔父マックスが公園で拾ってきた子犬は、オオカミではないかと疑う。

J913-ナヌ-1108455656

「ホリス・ウッズの絵」

こ訳
さ・え・ら書房 2004.4

絵が得意な11歳の少女ホリスの新しい里親は、元美術教師のジョージ。彼女に画才を認められ、これまで問題をおこしては里親をたらい回しにされてきたホリスも落ち着いていた日々を過ごす。だがホリスには家族への憧れがあった。6歳の時に願いをこめて描いた両親と兄妹のいる家族の絵を今も大切に持っている。そして、この夢はあの夏ついにかなうはずだったのに....。

J933-キ7-1108495849

「ライオンボーイ」

ジズー・コーダー著 枝広淳子訳
PHP研究所 2004.2

イギリス人の母とガーナ人の父を持つチャーリーは、ネコ語を話すことができる特別な少年。ある日科学者である両親が何者かに誘拐された。自分も捕まりそうになったが逃げ出し、猫から両親の行方を知らされた彼は、二人を救うため、ロンドンからパリへと向かうサーカス船に乗り込んだ。そこで彼はライオンの調教師にさせられる。

J933-コ7-1108496668

「笑いを売った少年」

ジェイムス・クリュス著 森川弘子訳
未知谷 2004.3

ティムは誰の心も明るくするとびきりの笑いをもっていた。継母と義兄のいじめにあうが、父と競馬場へ出かけるのを楽しみにして過ごした。父が死に、辛い日々を送るティムは、思い出の競馬場でどんな賭けにも勝つ力と引き替えに謎の男に自分の笑いを売ってしまった。笑いの大切さを悟ったティムは、笑いをとりもどすため家を出る。

J943-クリ-1108479433